

職員による自己評価

保護者による評価

A環境面
 ・利用人数が少ないという事もあり、適切なスペースや人員が確保されている。

B児童への支援内容
 ・アセスメントをしっかり行い支援を行なっているが、週1回という事もありプログラム内容やアセスメントツールの確立が手探りの状態になっている。
 ・カード支援を主に取り入れて就学の事も視野にいれて支援している。

C関係機関との連携
 ・保育所と連絡をとり、利用児童の情報共有を行なっている。

D保護者への説明責任・信頼関係
 ・連絡帳や送迎時にその日の様子をしっかりと伝え、家庭での様子の聞き取りも実施出来ている。
 ・送り迎え時やノートにて活動内容や子どもの様子をお伝えしている。

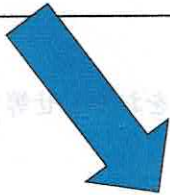
E非常対応
 災害時のマニュアル作成はしっかり行えているが訓練の実施には至っていない。マニュアルの策定、保護者への説明もされている。

A環境面
 活動スペースや人員配置等、環境・体制設備については適切だと判断している。
 ・活動スペースや職員の配置等も適切。

B児童への支援内容
 ・支援計画書やそれにあう支援やプログラムはしっかり行われている。
 ・プログラムが固定化がないように工夫されている。

C事業所からの情報発信
 ・連絡帳や送迎時に情報共有がされ、密に状況を知ることが出来ている。
 ・送り迎えの際に口頭で子どもの状況をお伝えしたりしてくれている。

D非常対応
 避難訓練が実施されているかは不明だが災害時の対応はアセスメント時に説明を受けている。
 訓練が行われているかは分からない。



事業所内での分析

【共通点】

- ・活動スペースや人員配置等の環境設定は適切。
- ・事業所、保護者間の情報共有はしっかり行えている。
- ・プログラムの工夫。
- ・室内環境が良い。
- ・保護者への伝達がきちんとされている。

【相違点】

- ・プログラムやアセスメントツールの充実
- ・非常時対応の認識が不一致である。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・比較的、新しい建物ということもありバリアフリー等、ハード面、人員配置等のソフト面共にしっかりできている。
- ・事業所、保護者間での風通しが良く、しっかり情報共有が行えている。
- ・こどもの特性に合わせて、プログラムを考える。
- ・保護者との風通しの良い関係性である。

事業所の改善点

- ・事業を開始して日も浅くプログラム内容の充実。
- ・他機関との連携関係性づくり。
- ・非常時対応の発信の仕方。

事業所の改善への取り組み

- ・他事業所等と情報共有し、プログラム内容の見直し、バリエーションを増やす。
- ・周辺施設の情報収集。
- ・地域のイベントへの参加
- ・紙ベースの情報発信で今後も続けていくのかどうか。(訓練などをお知らせ等で発信していてもあまり浸透していないのが現状)

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

開所して日が浅く利用児童も1名ではあるが保護者の方と信頼関係が築けており、引き続き細やかな支援と情報共有を行っていきたい。支援内容やプログラムについては様々な情報を集め、よりよい支援につなげていけるようにしたい。

今年度開所の事業所なので、評価などが難しかった。

利用児童も少ないため一人で丁寧に向き合って支援ができたと思う。

非常時対応やマニュアルの認知は改めて考える必要があると感じた。